

教育の未来は加賀にあり

教育委員会
連載

最終回

“教育ビジョン”を策定しました

加賀市教育ビジョン(表紙)



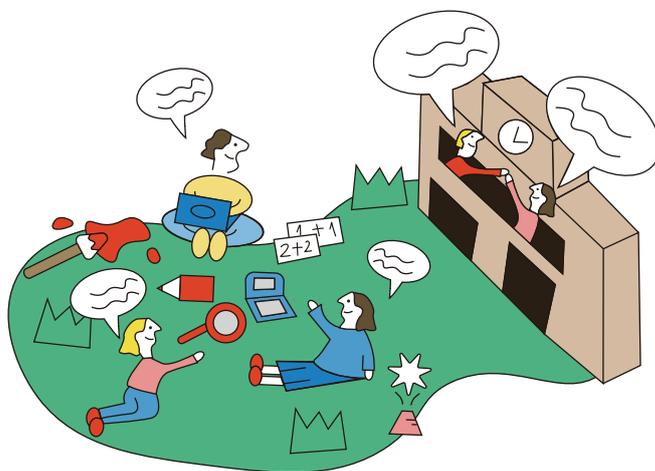
加賀市教育委員会では、2023年から「BE THE PLAYER」を合言葉として教育改革を進めてきました。このたび、その方向性をそのままに、向こう5年間において目指す姿や、特に重点的に取り組む事項を示す「教育ビジョン」を策定しました。

これまで学校等が様々な実践を重ね、そして外部からも一定の高い評価を受けてきた「BE THE PLAYER」のコンセプトは、国の学習指導要領改訂の

方向性ともマッチしているものであり、更に発展させていきます。

この3年間で、義務教育において求められるものや、社会の動きが変わったわけではなく、A-1の進化をはじめ、更に変化が激しくなっているという状況を踏まえ、生涯にわたって主体的に学び続けるための教育を、このコンセプトの下に、一層力強く推進していきます。

具体的な取組は、大きく4つのミッション、7つのプロジェクトに分かれています。文字数を極力抑えておりますので、詳細についてはぜひビジョン本体(パンフレット)をご覧ください。ただ、本誌にも記載のとおり、各プロジェクトの進捗等に関する地域・保護者の皆様との意見交換の機会を増やし、「みんな」で同じ方向を目指していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



目指す姿

自分自身の「好き」「全力」「やってみよう」を感じる瞬間を通じて、生涯にわたって自ら学べる人材を育成します。

その過程で、異なる価値観や伝統の理解などの協働・社会参画の基礎を築くとともに、各教科の学びを深めていきます。

これらを支えるため、氾濫する情報に流されないためのスキル・モラル・リテラシーを育みます。

「なぜ、こうした姿を目指すのか?」などについてもビジョン内に記載しています。

加賀市教育委員会は、このビジョンに記載のないものも含めた様々な取組によって教育が支えられていることへの感謝を忘れず、よりよい学びの実現に向けて、ビジョンに基づき、全力で取り組んでいきます。引き続きどうぞよろしくお願いたします!

